

労働者を使用するいわば免許証取得の第一歩！

労働実務基礎講習

無 料

開催のご案内

主催 一般社団法人 名北労働基準協会

後援 名古屋北労働基準監督署

法違反をめぐる労働基準監督署への労働者の申告、解雇・雇止めに関する労使紛争、さらには、労働者からの損害賠償請求事件が急増しており、企業が大きな責任を負うケースが多発しております。

労働基準法では、経営者に加え労働者の採用、残業命令・許可等の労務管理の権限を持つ支店長、工場長、部課長等の現場管理者にも、その権限の範囲で使用者としての法的義務、責任を課しております。

そして労働トラブルの多くは、この使用者の労働の知識の不足により発生しており、その防止の決め手は多くの義務・責任を負う使用者に、労働法令の知識と実務を習得いただくことです。



スライドを使ったわかりやすい内容です

このような知識を習得することが、労働者を使用するいわば免許証を取得することとなります。知識不足の無免許運転状態で、労働者を使用することは、労働トラブルという事故の元となります。

そこで当協会では、労働者を直接管理される使用者に、最低限必要となる基本的な法律知識等についての「労働実務基礎講習」を開催いたします。ぜひともご参加いただきますようご案内申し上げます。

1. 日時・会場

開催月日	時間	会場	定員	駐車
平成25年 6月20日(木)	13:30 ~ 16:30	一般社団法人 名北労働基準協会 3階「大会議室」 名古屋市北区清水1-13-1	40名	不可 近隣有料 駐車場あり
平成25年 7月24日(水)	13:30 ~ 16:30	一般社団法人 名北労働基準協会 3階「大会議室」 名古屋市北区清水1-13-1	40名	不可 近隣有料 駐車場あり
平成25年 8月30日(金)	13:30 ~ 16:30	小牧勤労センター 3階「大研修室」 小牧市大字上末2233-2	40名	可

2. 内 容

労働トラブル発生時の企業責任 トラブル発生の原因と防止対策	労働基準法の概要と実務 平成22年4月改正内容を含む	労働安全衛生法の概要と実務 安全衛生管理体制 法定教育を含む	労働保険の概要と実務 災害発生時と労働者退職時手続
---	--------------------------------------	---	-------------------------------------

3. 講 師 一般社団法人 名北労働基準協会
専門相談員 社会保険労務士 船岡和彦
労務管理コンサルタント 社会保険労務士 佐野孝輔

4. テキスト 「労務管理の早分かり」

5. 会 費 無 料 ※1社2名まででお願いいたします。

労働関係法令の概要から、届出書類一覧表、記載例、届出用紙等を収録した、今後の労務管理の参考となるテキストです。



6. 参加対象 ①企業経営者・新規開業者 ②企業の新任労務人事・安全衛生担当者
③支店長・営業所長・工場長・部署長など直接労働者を使用される方
7. 修了証 参加者には労働法令の基礎知識を習得された証として「修了証」を交付いたします。
8. 申込要領 申込書を予め下記へファックスにてお申し込みください。
(一社)名北労働基準協会 企画課 〒462-8575 名古屋市北区清水 1-13-1
TEL (052) 9 6 1-3 6 5 5 FAX (052) 9 6 2-1 6 7 0
※なお、開講1週間前に『労働実務基礎講習』のご参加について』をファックス
いたしますので、当日はお届けしました用紙を会場受付までお持ちください。

9. 会場略図

●一般社団法人 名北労働基準協会 3階「大会議室」
名古屋市北区清水 1-13-1 (駐車不可)

●小牧勤労センター 3階「大研修室」
小牧市大字上末 2 2 3 3-2 (駐車可)



公共交通機関

「名 鉄」清水駅徒歩4分、東大手駅徒歩7分
「地下鉄」市役所駅①番出口徒歩12分
「バ ス」市バス、名鉄バス 清水徒歩4分
極力公共交通機関でご来場ください。お車にてお越しの場合、開講時間まで充分時間を見ていただいたうえで、近隣の駐車場を各自の責任・負担をご利用下さい。

公共交通機関

小牧駅バスターミナルからピーチバスへ乗車、『上末バス停』から徒歩15分

お車でのご来場が可能です

.....キリトリ線.....

労働実務基礎講習 申込書 (コピー可)

予めファックスにてお申込ください。当日は、開講1~2週間前にお送りいたしますFAXの用紙をお持ちください。急きょご欠席される場合はご連絡願います。

事業場名		TEL	()	-
		FAX	()	-
事業内容		労働者数		名
所在地	〒			
ご出席者 1社2名まで でお願いいた します	参加番号 (ご記入は不要です)	職 名	氏 名	受 講 日 (ご参加される日程に○を付して下さい)
				6月20日・7月24日・8月30日
				6月20日・7月24日・8月30日